

ダイバーシティ

イスラム墓地不足 受容の壁に

例も増えているという。
イスラム教では遺体を土葬するのが決まりだ。日本でも以前は土葬も多く、今も法律上は可能だが、実際は99%以上が火葬されているため、土葬

強と続く。

日本に住むインドネシア人は特定技能や技能実習生として介護や建設、水産業などに従事する人が急増しており、24年末では同国出身のイスラム教徒数が18万人程度に膨らんでいるとみられる。

ワイスさんによると、仕事中に命を落とす人も目立ってきた。遺体を祖国に移送するには多額の費用がかかる上、日本で家族と暮らす人も多くなり、日本での埋葬を望む例も増えているという。

なったからだ。

店田廣文・早稲田大学
名誉教授の推計では、日
本に住むイスラム教徒は
2023年末時点で日本
人信者も含めて約35万人
に上る。出身国別ではイ
ンドネシアが13万人強で
最も多く、バングラデシ
ユ2万5000人弱、パ
キスタン2万4000人
強と続く。

「二度OKが出たけれど、結局あきらめなければならなかった」。在日インドネシアムスリム協会で2024年まで事務局長を務めたワイス・アルキンディさんが嘆く。茨城県梶川市に土葬墓地をつくる計画を立て23年に市の許可を得たものの、住民の理解が得られずに断念せざるをえなくなったからだ。

外国人を中心にイスラム教徒（ムスリム）が急増する中、墓地問題が深刻になってきた。イスラムでは火葬ではなく土葬しなければならないが、信者用墓地の建設が住民に反対されるケースが相次ぐ。労働者不足で外国人の受け入れに動く日本にとって、多文化共生社会を築く上で大きな問題になりつつある。

「二度OKが出たけれ

「たまたま行政から土葬許可が下りていたことに加え、村で土葬が長く続いていた歴史もあり、

と「イスラム教区」の看板が立ち、墓石にはアラビア語の文字が彫られている。3年ほど前から土葬墓地を整備し、3人のイスラム教徒が土葬された。信者団体などが約20区画を押さえている。

霊園では仏教徒を火葬で埋葬していたが、高麗寺を管轄する宗教法人の崔炳潤代表役員が土葬墓地不足を耳にして整備に踏み切った。在日韓国人を中心に建てられた禅宗の寺で、信者数が減って財政的に厳しく、霊園を

身で日本国籍を取った信者を中心に別府市近くの土地を取得したものの、水質汚染などを心配する住民の反対で長年計画が進んでいない。

対応に乗り出す動きも出てきた。

京都府南山城村の高麗寺国際霊園。仏教式の墓を見ながら坂道を上るのと「イスラム教区」の看

できる墓地は国内で10カ所程度にとどまる。「仲間」に不幸があるたびに墓探しに苦労する。イスラム教徒は増え続けているので、これからどんどん深刻になる」とワイズさんは打ち明ける。

国内各地では同じような問題が起きている。例えば大分県の別府ムスリム協会は、パキスタン出身で日本国籍を取った信

できる墓地は国内で10カ

技能実習生など信者急増／動く県や寺も

日本は外国人労働者を受け入れる選択肢しかない。政府も技能実習制度などを通じて門戸を開き始めている。

外国人の定着が増えるにつれて、その子どもが

「郷に入れば郷に従え」
「祖国に帰れ」。イスラム教徒の土葬墓地に反対する人の多くがこんな声を上げている。欧米人に多いキリスト教に比べイスラム教になじみがないことから来る差別の意識が見え隠れする。

少子高齢化に直面する日本は外国人労働者を受

先行組の各国に学べ

スラム教徒以外の人も含めて土葬を希望する例も増えそう、今後も墓地を広げる」と計画する。

外国人向けの葬送サービスを手掛ける燈台舎（東京都立川市）では、死去した外国人を祖国に空輸する事業が中心だったが、日本での土葬支援も増えてきたという。松木修平社長は「別の地域

この霊園は宗教や国籍を問わず受け入れており、土葬用としてキリスト教や仏教徒向けも用意した。キリスト教区には日本で死去した外国人宣教師らが埋葬され、仏教区には土葬を望んだ日本人数人も眠る。崔氏は「イスラム教徒以外の人も含

墓地開発に地元からの理

本より早くイスラム教徒を受け入れ、経験を積んできた。後発組の日本は各国の知見を学び、課題の克服に生かすべきだ。

(シニアライター)

野沢康二

日本社会を自分の居場所と感じる例も多くなっている。結婚などを通じた日本人のイスラム教徒らが増えているのも現実だ。しかし医療や教育などの現場では、こうした人たちへの対応を巡って混乱が続く。

吾國に學べ

内労働力人口の3・3%に当たる。

相愛大学の三木英客員教授(宗敎社会学)は「日本が労働不足に悩む中で外国人に來ないでというのは無理な話だ。なじみのない宗教や文化を背景にした移民たちをどのよう^にに受け入れるかを真剣に考えなければならぬ」と指摘する。

社会のために貢献をしよ
うという人が亡くなった
後のことを考えるのは当
然で、そういった人に寄
り添う姿勢が必要」と、
方針の堅持を強調する。
宮城県に限らず、全国
で外国人労働者の受け入
れが進んでおり、24年10
月末時点でその数は10年
前の3倍近い230万人
に達した。24年平均の国
内労働力人口の3・3%

社会のために貢献をしよう



イスラム教徒の土葬向けに整備した墓地の一画（京都府南山城村の高麗寺国際霊園）

在日イスラム教徒の悩みは様々

- 飲食
 - 教義にのっとったハラル食品の普及は道半ば
- 医療
 - 女性患者は男性医師の診察を避けることが多い
 - 産婦人科で特殊な処置が必要なことも
- 教育
 - 学校で女子の制服や水着などで教義や慣習と合わないことも
- 埋葬
 - 土葬墓地在不足



集団で礼拝する在日イスラム教徒ら
(3月、東京都目黒区)

万人 在日イスラム教徒は急増

Year	Number of Muslims (万人)
1990年末	2.5
2005	11
2020	23
23	35

(出所) 店田廣文・早稲田大名誉教授の推計

にいたる同業者と連携するネットワークを作りた
い」と語る。

自治体として動くのが宮城県だ。村井嘉浩知事が24年、土葬墓地の設置を検討すると表明し、他地域の状況などを調査している。

背景には東日本大震災からの復興を進める中で大きな課題になっている人手不足がある。特に介護や建設、水産加工業などで深刻で県はアジア諸国からの労働者受け入れを促進している。日本を終（つい）の棲家（すみか）にしたいと考える外国人の生活環境を向上させるためにも土葬墓地の建設を進めたい考えだ。県内外からは批判が上がる。2月上旬までにメ